

北八ヶ岳 & 霧ヶ峰 NO.1



(ハイライトシーン)

※弥生班 計6名

[※ 実施日—2025年9月8日(月)～9日(火)]

① (北八ヶ岳ロープウェイ山頂駅)



② (坪庭)



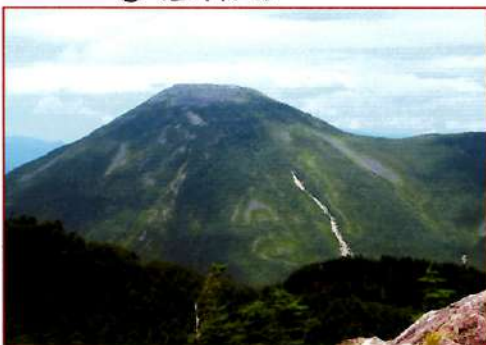
④ (北横岳の北峰)



③ (北横岳の南峰)



⑤ (蓼科山)



⑥ (南八ヶ岳連峰)



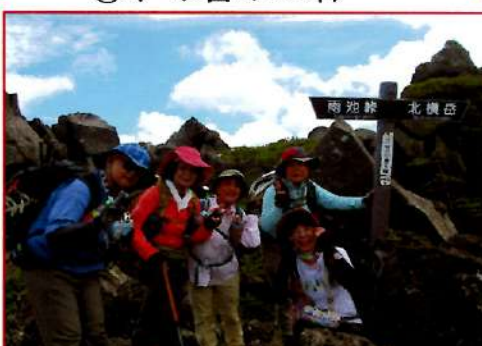
⑦ (三ヶ岳)



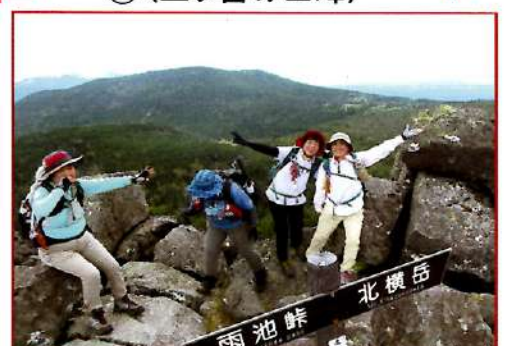
⑩ (三ツ岳のⅠ峰)



⑨ (三ツ岳のⅡ峰)



⑧ (三ツ岳のⅢ峰)



北八ヶ岳 & 霧ヶ峰

NO.2

⑪ (早朝の八島湿原—1)



⑫ (早朝の八島湿原—2)



⑬ (霧ヶ峰一周コースの起点)



⑮ (車山神社)



⑭ (車山の山頂)



⑯ (車山から見た槍ヶ岳)



⑱ (物見岩)



⑰ (蝶々深山)



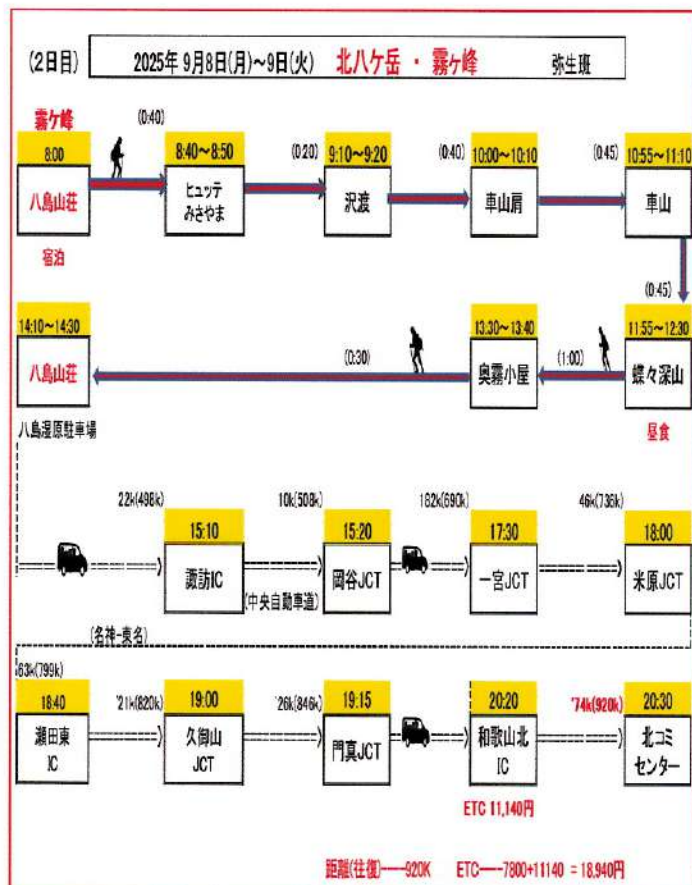
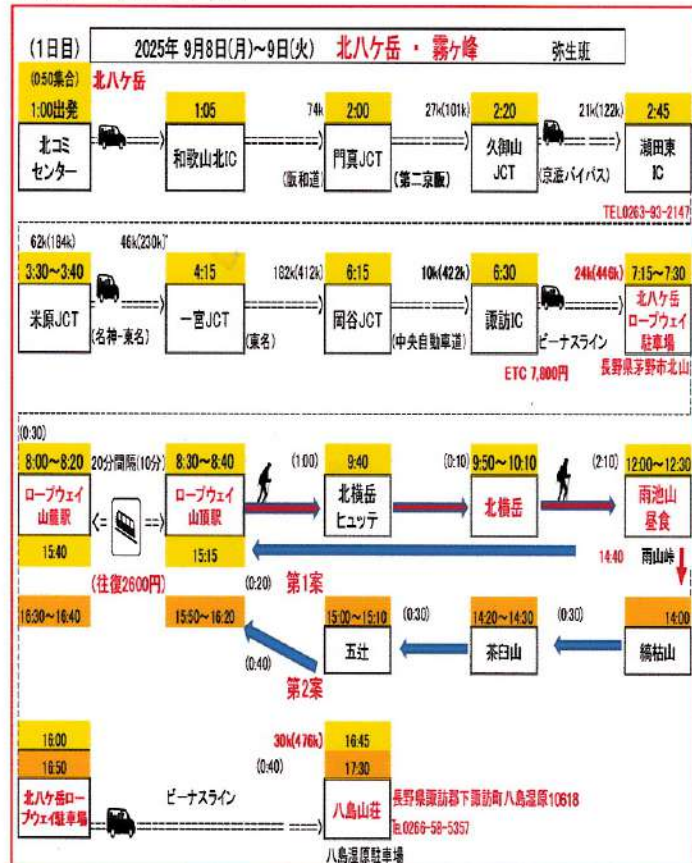
⑲ (八島湿原起点に到着)



北八ヶ岳 & 霧ヶ峰

※(山行日) --- 2025 年 9 月 8 日 ~ 9 日

※(行 程) [予定]



紀峰山の会 (弥生班)

(計6名) 木村、中濱、八木、大野、新延、有本、

(北八ヶ岳 ロードマップ)



(霧ヶ峰 ロードマップ)



※[はじめに]

(北八ヶ岳)

- 八ヶ岳は、本州中央を縦断するフォッサマグナ (大地溝帯) に沿って噴出した火山群で、標高 2899m の赤岳を主峰に、南端を編笠山、北端を蓼科山として、20 以上のピークが主稜線と支稜に連なっています。
- 八ヶ岳は、ほぼ中間の夏沢峠を境に以南を南八ヶ岳、以北を北八ヶ岳と呼ばれている。
- 南八ヶ岳は主峰・赤岳を中心に権現岳や横岳、阿弥陀岳など、アルペンムードを放つ峻険な峰々がそびえ立ち、対照的に北八ヶ岳は、おだやかな山並みが広がり、針葉樹の原生林に囲まれた山上湖や明るく伸びやかな草原が点在しています。

(霧ヶ峰)

○霧ヶ峰高原。見渡す限りさえぎるものもなく、
なだらかな起伏が続くこの高原は、主峰車山
から噴出した溶岩でできた広大な高原です。

(写真1)

(諏訪湖)



- ・和歌山を1時に出発。諏訪湖SAに7時到着。
ここで朝食をとる。
天気が良く諏訪湖をバックに清々しい気分!

(写真2)

(北八ヶ岳ロープウェイ)



- ・8時40分、北八ヶ岳ロープウェイに乗る。

(写真3)

(山頂駅で登山届を提出)



(写真4)

(坪庭)



- ・ロープウェイ山頂駅を出ると坪庭庭園が広がる。
・坪庭は八ヶ岳の火山活動でできた溶岩台地。

(写真5)

(登山開始)



- ・9時過ぎ、先ずは北横岳方面へ山行開始。

(写真6)

(北横岳の南峰--その1)



- ・10時、約1時間で南峰に到着。

(写真 7)

(北横岳の南峰-その 2.)



- ・南峰からは、赤岳を始めとする南八ヶ岳連峰が見える。

(写真 10)

(三ヶ岳)



- ・三ヶ岳の名の通り三つの山頂があり、Ⅰ峰、Ⅱ峰、Ⅲ峰と名前がついている。
岩場で鎖場もあり、スリル満点コース。

(写真 8)

(北横岳の北峰)



- ・約 10 分で北峰に到着。

(写真 11)

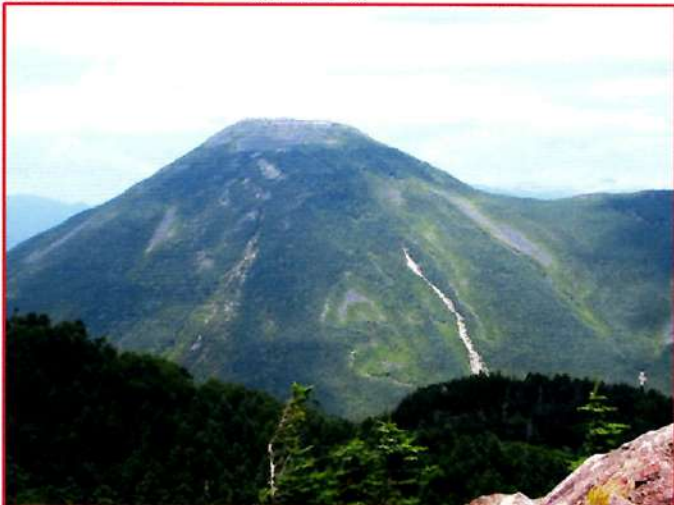
(鎖 場)



- ・鎖場は安全最優先でゆっくり三点確保で進む。

(写真 9)

(蓼科山)



- ・北峰からは、目の前に蓼科山が大きく見える。

(写真 12)

(三ツ岳のⅢ峰)



- ・北横岳からの三ツ岳登頂はⅢ峰から始まる。

(写真 13)

(三ツ岳のⅡ峰)



- 岩場の登りはハード。
弥生班の技量では、少しきつく時間を要した。

(写真 16)

(八島山荘での夕食)



- 下山後、17 時過ぎに八島山荘に到着。
入浴後のビールは最高!!

(写真 14)

(三ツ岳のⅠ峰)



- やっと三つの山頂に到着。

(写真 17)

(早朝の八島湿原—その 1)



- 5 時 15 分に起床。 朝食前に八島池を散策。
霧ヶ峰の名の如く、霧が立ち込め幻想的な雰
囲気。

(写真 15)

(ランチタイム)



- 稜線部は開け解放感があり、弁当が美味しい。

(写真 18)

(早朝の八島湿原—その 2)



- 8 時過ぎには霧が晴れて、広々と視界が広がる。

(写真19) (霧ヶ峰一周コースの起点)



・本日も晴天。前日からの疲れも忘れ出発。

(写真22) (車山神社)



・安全登山の祈願をする。

(写真20) (草原地帯)



・八島湿原の木道で整備された散策道で草花を視察。沢渡で山道ルートが色々あるらしく、途中 2~3 回、同じところを往復していった。

(写真21) (車山の山頂)



・11時過ぎに到着。

(写真23) (蓼科山をバックに)



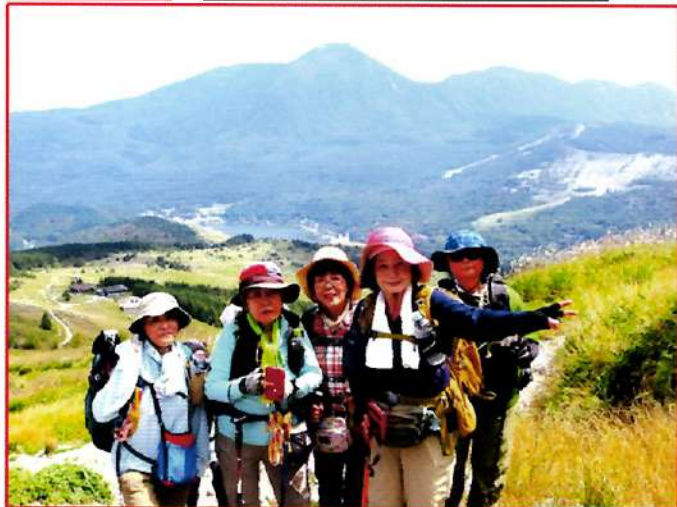
・車山からは、360度のパノラマが広がる。南方面は、蓼科山や南八ヶ岳が見える。

(写真24) (車山から見た槍ヶ岳)



・北側の遠くには、うっすらと槍ヶ岳が見える。

(写真25) (蓼科山と白樺湖をバックに)



・車山の下山途中の絶景。

(写真28) (物見岩)



・下山途中に奇岩がある。

(写真26) (蝶々深山)



・12時過ぎに蝶々深山へ到着。

(写真29) (八島湿原の起点に到着)



※(最後に)

- 1 日目の北八ヶ岳は心地よい風があり、北横岳までは、快適に進められた。南峰からは、赤岳をはじめとする南八ヶ岳連峰が一望でき、北峰からは蓼科山や霧ヶ峰方面の絶景が楽しめた。
- 三ツ岳へは、大きな石や岩があり、鎖場や岩登りと予想以上のハードなルートであり、安全優先で時間をかけて登頂した。
- 2 日目の霧ヶ峰では、霧に包まれた八島湿原で幻想的な朝を迎えた。
- 車山の外周を登頂時は、北アルプスや八ヶ岳の絶景が見え、疲れを忘れるルートである。
- 車山を下山し、蝶々深山へは見た目より距離があったが、360度のパノラマを見ながらの昼食で、八島山荘で作ってもらった弁当は美味しく、お腹と心が満たされました。帰路での下諏訪温泉で入浴もでき、満喫した2日間の旅でした。

(写真27) (ランチタイム)



・蝶々深山からは360度の視界が広がる。
蓼科山をバックに昼食。